

ピアサポート活動始まる!

「ピアサポート」という言葉を初めて聞く方もいらっしゃると思います。「仲間同士の支え合い」という意味で、総社市全体でも「ピアサポート活動」を大切にしています。近年は人との関りが希薄になりがちで、コミュニケーション能力の低下が懸念されています。山田幼稚園では幼稚園だけでなく、地域の人や小学生との交流も計画的に取り入れ、互いを尊重し合い助け合える仲間づくりに取り組んでいます。その中で自分が必要とされているという自己有用感や、相手に対する思いやり、人への関心を高め自分から関わる意欲などを育てていきます。

さっそく5月のピアサポート活動を紹介します。



サツマイモの苗の植え方や服のたたみ方（身体測定）などいろいろな場面であじさい組が優しく教えてくれています。

子どもの日の集い（異年齢児とのピアサポート活動）

子どもの日に向けて、新聞紙で兜を作りました。あじさい組ひまわり組は自分で作りました。「色を塗ってもいい?」と自分の兜をもっと素敵にしようと張り切っている姿も見られました。さくら組はあじさい組に作ってもらった兜をとても喜んでかぶっていました。



子どもの日の集いの中では、玉入れやみんなで作ったこいのぼりを使ってこいのぼりかけっこをしたりしました。さくら組のスピードに合わせてあじさい組が走ってくれる姿や、「がんばれー!!」とみんなで応援合いながら頑張る姿が見られました。



最後に柏餅を食べました。みんな元気に大きくなってね!

久代幼・西小との交流 (小学生とのピアサポート活動)

総社西小学校5年生とあじさい・ひまわり組が交流しました。自己紹介をして触れ合い遊びをした後、幼稚園の人のしたい遊びをペアの小学生と一緒に楽しみました。最初は恥ずかしそうだった子どもたちも、ペアの小学生が「次は何して遊ぶ?」と優しく接してくれたことで次第に距離が近くなり笑顔も増えてきました。お別れの時間に西小祭りの案内状を一人ずつもらい、とても喜んでいました。

西小祭りでは、ボウリングやもぐらたたき、宝探しなど、小学生が考えた楽しいコーナーがたくさんありました。遊び方を教えてもらい、それぞれのコーナーで手作りの景品ももらい大満足の子もたくさんいました。



キク栽培 (地域の方とのピアサポート活動)

地域の方が幼稚園にキク作りを教えに来てくださいました。毎年、あじさい組が代表で習っています。初めてキクの話聞く子どもたちの表情はとても真剣です。地域の方は、子どもたちの頑張っているところを見付け、一人一人声を掛け褒めてくださり、子どもたちはさらに意欲的にキクの植え替えをしました。キクは2、3回植え替えをしたり水をしっかりあげたり、丁寧に世話をしないとすぐ枯れてしまいます。これから地域の人に教えていただきながら、10月まで世話をします。



5月の品格教育は「責任」でした

今月は『自分の身の回りのことを自分でする』『友達と力を合わせて最後まで片付けをする』という目標でした。振り返りの時間に子どもたちに尋ねると、「自分で着替えたよ」「自分で歯磨きをして最後はお母さんにしてもらった」「持ち物の準備はしなかったなあ」などと教えてくれました。自分でやってみようという意欲をもったり、自分でできたうれしさを感じたりすることが大切です。うれしさに共感したり、難しいところは励ましたり手伝ったりしながら一人一人に合わせて関わっています。

片付けも「頑張ったよ」という声がたくさん聞かれました。もう少し遊びたい気持ちから取り掛かるまでに時間が掛かったり、片付けたい物が友達と重なってトラブルになったりすることもあります。みんなが力を合わせるとあっという間に終わってびっくりすることもあります。引き続きみんなで頑張りたいと思います。

切り取り線

★なかよしの感想やお子様の近況などお知らせください。

名前 ()